

コミュニティ女性フォーラムで楽しく学習

パーティーでワイワイ交流も

「住んでよかった」と、実感できる住みよいまちづくりを支える女性コミュニティリーダーの研修会が、市内を北部・中央・南部の3ブロックに分かれて、ごみ、高齢化社会、仲間づくりなどのテーマで行なわれました。3会場とも、立食パーティーやティーパーティーがセットされた楽しい集いでした。

ごみ減量とリサイクル推進 北部ブロック研修会

日立市では、袋ごみ、再生資源、粗大ごみの3つに分別して回収しています。その処理費用は、1日260万円もかかっています。豊浦、日高、田尻、滑川、仲町、宮田、中里、7学区の北部ブロックは、ごみ減量化とリサイクルを推進するため「地域のごみ問題を考える」「私たちは今、何をすべきか」をテーマに真けんな話し合いを行ないました。

「再生資源を、さらに細かく分別する方式を全学区に呼びかけたい」「女性のごみ推進員を増員しては」意識を高めるために清掃センターの見学会を多く開催する」「コンポストを使って生ごみを減量する」などの意見が出ました。

心の豊かさは地域交流から 中央ブロック研修会

中小路、助川、会瀬、成沢、油繩子、大久保、河原子8学区の中央ブロックのテーマは「はばたこう、輝けるときへ……」一高齢化社会を考へる。市社会福祉協議会荒正事務局長から「地域の高齢者に“今”何ができるか。自分自身が輝きながら老いるためにはどうすべきか」の講話を聞き、3つの分散会で話し合い、次のような意見が出されました。

- ・老いてから夫婦愛を大切に。
- ・夫婦から地域のつながりへ。
- ・心の豊かさは近隣社会での心の交



▲老後を真けん話し合う(中央)

▲初体験にドキドキでしたが……。 (南部)

- ・流から育つ。
- ・自分から積極的に地域へとけこむ。
- ・30才から老後を考える。

新しい仲間と自分を発見 南部ブロック研修会

南部ブロックは「素敵な仲間、もう一人のあなた」がテーマ。坂下、久慈、大みか、水木、金沢、大沼、塙山の7学区から50人の女性リーダーが1月26日塙山コミセンに集まりました。茨城大学長谷川幸介先生の講演から、「地域における女性の役割の重要性」を理解。続いて各学区の代表が「今、頑張

っていること」について発表。ほとんどの人が人前で発表することは初めてとあって、はじめはコチコチでしたが、水泳、老人介護、広報紙づくり、受験問題、交通安全母の会のことなど、身近な話で、中盤からは笑いも出るほどのうちとけムードのトークとなりました。

クイズや名刺交換コンテストも行なわれ、用意された料理を食べるのも楽しめるほど話がはずみ、テーマ通り新しい仲間ともう一人の自分を発見した集いとなりました。

「見る 聞く さがす 夢がある」 百年塾キャッチフレーズ大募集

シンボルマークは再募集

百年塾では、昨年の10月からシンボルマークとキャッチフレーズを募集、シンボルマークは56点、キャッチフレーズは53点の応募があり、12月13日に審査会を行いました。審査の結果、キャッチフレーズは、最後まで残った2点を審査会で合作補作し、「見る 聞く さがす 夢がある」に決定。シンボルマークは、該当作品がなく、2月末日切で再募集をしました。入賞者の表彰は、5月に開催する百

年塾推進本部の定期総会でを行う予定です。(キャッチフレーズ)

- 優秀賞 川澄とき子さん(東大沼町)
- 〃 滝内 信人さん(南高野町)
- 佳作 藤田 玲子さん(石名坂町)
- 〃 目時美美子さん(若葉町)
- 奨励賞 萩野友紀子さん(成沢小5)
- (シンボルマーク)
- 奨励賞 沼田 周さん(東多賀町)
- 遠藤 勲さん(南高野町)
- 森 憲明さん(末広町)
- 鈴木久美子さん(成沢小5)

デジタルホーン憩いのひととき

日立版千夜一夜物語 飯山市長が市民教授

ある会合で、デジタルホーンの生音を耳にした一、初めて見る珍しい楽器と不思議な音色に魅せられて、習ってみたいことを決心しました。



▲音千の人もけっこうふけるようになりました。

その時の演奏者が飯山市民教授だったのです。早速教えていただくをお願いしていたことが発端となり、その後、習ってみたいと思う17名の仲間と楽器を共同購入して、今宵を心待ちしていたのです。

開会の言葉の中で教授は「デジタルホーンを媒体として、集まりをもつとは、正直いって驚きを感じています」と、初めて声がかかった感激を隠しきれない様子でした。

模範演奏のあと、楽器の機能と取り扱い方の説明を聞き、いざ楽器を手にして音出しを始める表情は、序々に真剣な顔付きに変わり、全員で吹き鳴ら

す音の洪水で部屋は溢れていました。やがて、手とり指とりのスキンシップ教授法が功を奏し、はっきりと聞き取れるドレミの音があちらこちらから響いてくるようになり、2オクターブまでの音階を聞くと、千夜一夜物語の世界にいる気分になりました。

会の名称も「デジタル・モネ」と決まり、魔法にかかった仲間は、とりあえず百年塾の総会で合奏することを目指して練習をつづけていくそうです。

百年塾はいいほん 生涯学習へ経費の一部を助成します

さまざまな生涯学習へ助成をしています。お気軽にご相談ください。

- ①市民モデル事業助成 (1件5,000円)
 - ・原則として新しいグループ。既存のグループの場合は新しいテーマ
 - ・おおむね10人程度のグループ
 - ・市民教授を活用(助成申請のとき登録可)
- ②家庭教育講座事業助成 (1件20,000円以内)
 - ・PTA、コミュニティ、その他の団体が家庭教育をテーマに学習するとき
 - ・3回程度のシリーズ
 - ・市民教授を活用(助成申請のとき登録可)
- ③地域公民館・コミセンモデル事業助成 (1件20,000円以内)
 - ・地域公民館やコミセンを活用して生涯学習事業をするとき
 - ・3回程度のシリーズ
 - ・市民教授を活用(助成申請のとき登録可)

百年塾
相談コーナー
☎21-8762

- ☎こんなことを教えてくれる人は(市民教授情報)
- ☎こんなことをしているグループは(グループ、サークル情報)
- ☎こんなことをしたいが適当な場所は(施設情報)
- ・その他、生涯学習に関することならなんでもご相談ください。

魚の3枚おろしに歓声 男の料理教室

高齢社会時代、ひとりになっても困らないように、ということで開催された「男の料理教室」。3回シリーズの第1

回目は2月11日、塙山コミセンで魚料理を勉強しました。市民教授は塙山で魚貝料理店「二条」を営む神永利夫さ



▲どうにか手つきだけはよくなったが……。

ん。

この日のメインメニューはブリの照焼き。まずサンマを使って魚を3枚におろす練習から始めました。危っかしい手つきで出刃包丁を使い、汗をかきながらもどうにか3枚におろせたときは大きな歓声があがりました。

続いて本命のブリに挑戦。切身、刺

身づくりを全員がひと通りマスターできて大満足。自分でつくったさかなで飲む酒の味は格別で、初対面同士でも話がはずみ、「家で女房をおどろかせてやるぞ」「まず包丁を揃えなくちゃ」などとノミネーションが夕刻まで続きました。

第2回目は3月15日に洋食、第3回目は4月12日に中国料理を勉強する予定です。まだ定員に余裕があります。希望者は塙山コミセン (☎34-5404) までどうぞ。

アイデア募集!

全日本文学コンテストの副賞50万円の使い方

昨年10月26日、日立駅前パティオ日立を会場に1,000人の市民が参加して行われた「全日本文学コンテスト」は、1月23日にテレビ放映され、見事「最優秀アイデア賞」を受賞しました。

今回のイベントを進めた「日立流星団」では、最優秀アイデア賞の副賞50万円を、1,000人以上の参加者が寒空の下、一生懸命頑張って掴み取った大切な賞金なので有効に活用したいと、人文学コンテストの参加者をはじめ市民の皆さんからその賞金の活用について広くアイデアを募集しています。

今回の受賞には、副賞のほかにトロフィーと写真パネル(半切)もあるの

でそれらの展示や保管についても意見を募集しています。

アイデア、意見は次のところへお電話かFAXでどうぞ!

日立流星団(森 秀明)
FAX 35-2135 TEL 36-1521



▲ヤッター! 感激の翫上げ

あれ/ブロック塀がきれいになった!

日立電線工場では、駅前開発に合わせ、まちの環境美化が進む平成2年末から、工場を囲む延べ1.5kmのブロック塀の塗装をしています。明るい2色のペンキで化粧された塀は、行き交う市民に快適な道路空間を感じさせています。間もなく全塗装を完了するそうです。



▲すっかり明るくなりました。

あの人 市民教授紹介 この人

イラストの市民教授紹介

イラストのご注文!!
ご相談ください。

現在百年塾に登録されている500名の市民教授の中から、今回はイラストの市民教授を紹介。広報紙やパンフレットのイラストのご注文も相談にのっていただけます。お気軽にどうぞ!!

山腰 明さん
助川町5-13-C-303 TEL 21-6545



最近紙と鉛筆だけでなく、このようなコンピュータを使って絵を描くことも簡単にできます。こんなことも

できるという一例です。

坂本隆夫さん
滑川本町2-8-34-102 TEL 22-3564



友人の披露宴のプロフィール、行事のパンフレットなどを手がけました。最近では「コミュニティハンドブック」(6000部作成)のイラストを担当しました。

ブック」(6000部作成)のイラストを担当しました。

栢沢奈美さん
(お問い合わせは事務局まで)

塙山学区で発行している月刊「かわら版」のイラストを約10年担当、視聴覚センター施設案内、その他アンケート、パンフレット等のイラストも手がけました。



何を書こうかいつも迷った末に
めきり同様に仕上げる

わたしたちも市民教授です



1991.10.20~1992.2.20に新たに登録された方の紹介です。

市民生活学部

佐々木光雄(塙山町)心身障害者の教育
安田 紀子(西成沢町)手話

家庭生活学部

大竹 悦子(東多賀町)料理・健康食
岡 新平(神峰町)着付け
北見 利美(幸町)カウンセリング

山田 和子(西成沢町)編みもの

文化学部

大竹 則雄(助川町)尺八
五頭勘次郎(東成沢町)水墨画・吟詠
坂本 隆夫(滑川本町)イラスト
沢井 文雄(大宮町)民謡・三味線
柴田千恵子(東町)書道
西野 和治(森山町)油絵・デッサン
樋口 一男(高萩市)尺八
先崎 成章(川尻町)囲碁

教養学部

佐藤 千広(川尻町)短歌・古典鑑賞
塚田 茂(北茨城市)英会話
大竹 則雄(助川町)英会話

健康・スポーツ学部

佐藤 千広(川尻町)剣道
清代 清(弁天町)軽スポーツ